

中川運河水辺地区再生構想

(素案)

名古屋都心部に連なる中川運河を
静謐な水辺空間を持つ
気品と賑わいのある街に

日本プロジェクト産業協議会 (JAPIC)
国土・未来プロジェクト研究会

趣旨説明



名古屋駅に隣接した運河
固有の広大な水面が活か
されていない

写真：名古屋港管理組合提供

2017年JAPICの提言

名古屋駅に隣接する
中川運河を
気品ある街並みと
静謐な水辺空間に



2021年JAPICの提言

◆ 社会・価値観の変容
パンデミック禍
デジタル化
脱炭素化への加速

- 社会のニーズ捉えた視点
- スピード感ある事業化に向け
- 新たな再生構想を提起

<目次>

1. 中川運河水辺地区の沿革と現状
2. 運河ならびに周辺利用の課題
3. 国内外の再開発・再生事例
4. 中川運河ならびに周辺地域再生構想
5. 今後の事業展開のために
6. 将来構想

1. 中川運河水辺地区の沿革と現状

閘門式運河として整備（昭和7年全線供用開始）

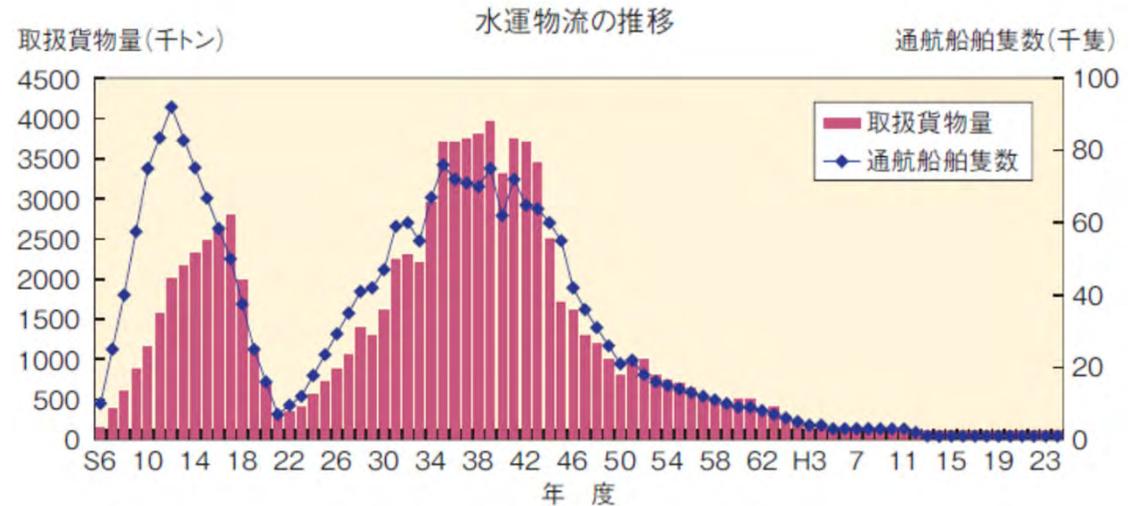
- ・名古屋の経済発展を支える一大輸送幹線
- ・市中心部の排水機能を受け持つ施設



1. 中川運河水辺地区の沿革と現状

昭和39年をピークに
約1%まで減少

自動車輸送の進展とともに
水運は衰退



水域利用の変化

水辺や倉庫を利用し
文化イベントや
水上スポーツの場
としてわずかに利用



中川運河チャンネルアート

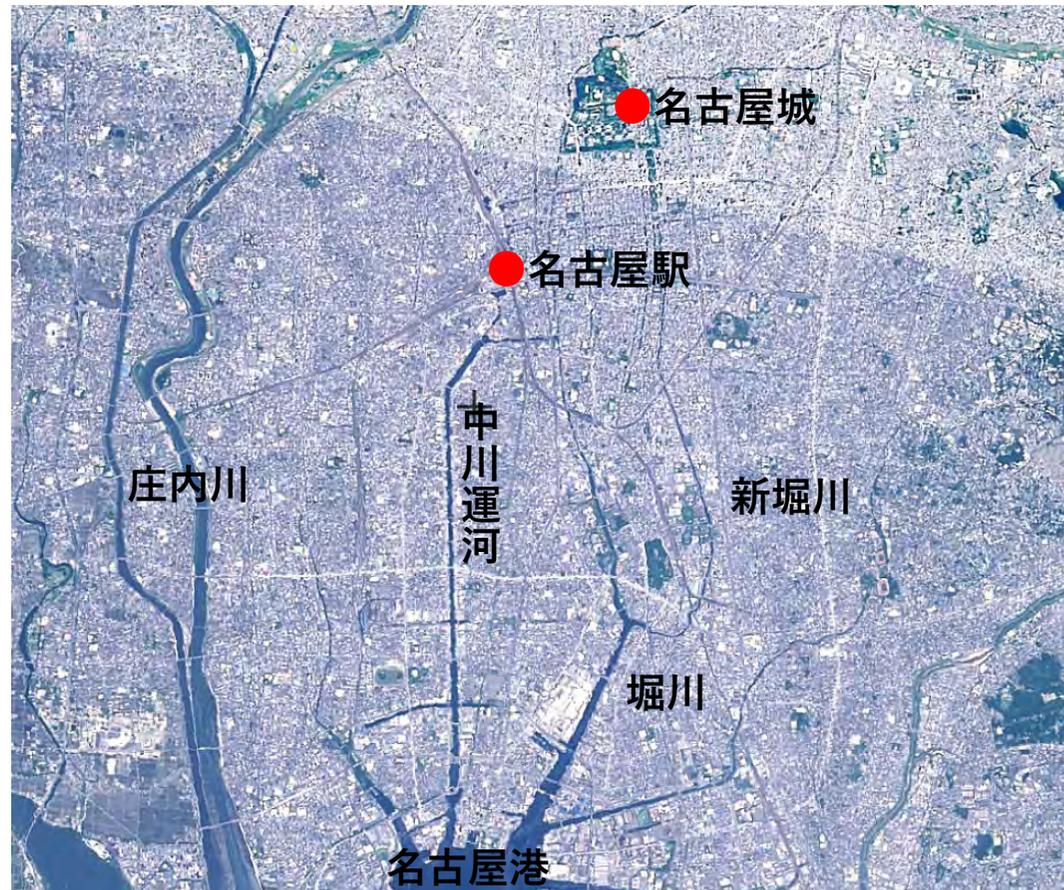


SUP (Stand Up Paddleboard)

2. 運河ならびに周辺利用の課題

【運河全景】

- ・ 名古屋市街地には水に親しむ空間が限られている
- ・ 名古屋駅を降りるとビジネスビルが立ち並ぶのみ
⇒ **名古屋駅・大都市圏に隣接する広大な水辺空間
となる中川運河を親しむ環境が育まれていない**



出典；国土地理院図（電子国土WEB）より

<https://maps.gsi.go.jp/#13/35.145389/136.880379/&base=ort&ls=ort&disp=1&vs=c1j0h0k0l0u0t0z0r0s0m0f1&d=m>

2. 運河ならびに周辺利用の課題

【水辺地区】

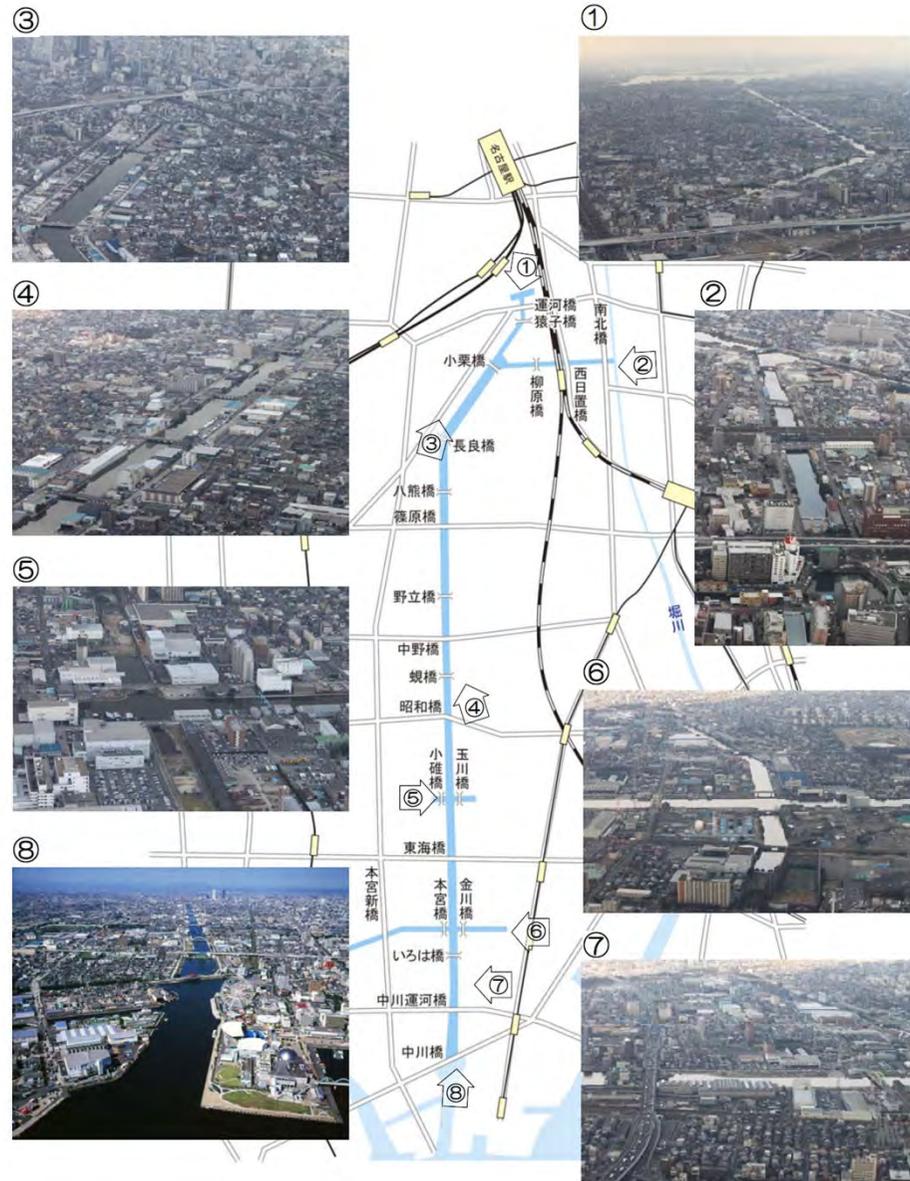
中川運河周辺は臨港区域となる倉庫街が中心



タンカー船を主体とした水運利用



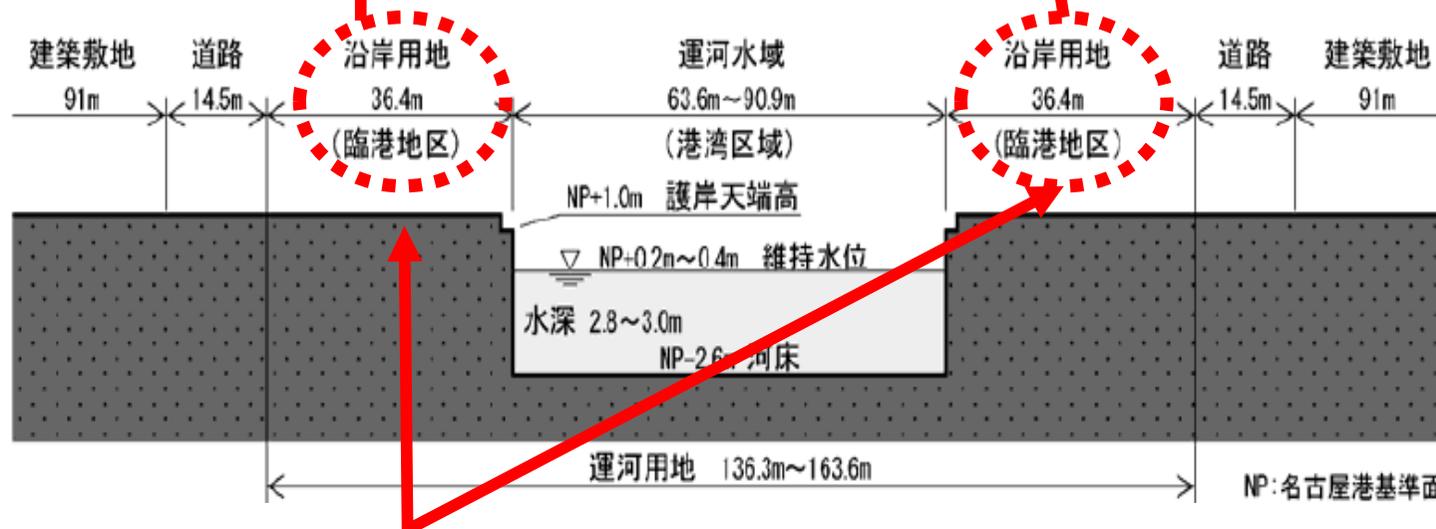
立ち並ぶ倉庫・物流関連企業



張出護岸に改修された旧護岸

2. 運河ならびに周辺利用の課題

【水辺地区】 沿線から隔離された水面域



臨港地区：開発行為規制区間 一部特認として「にぎわい施設」として解放

2. 運河ならびに周辺利用の課題

【周辺地区】 運河周辺に拠点地区が点在



ささしまライブ24地区
(写真：名古屋市HPより)



名古屋ガーデン埠頭
(名古屋港水族館210万人/年)
(シートレインランド 63万人/年)
(写真：名古屋港管理組合HPより)
(来場者；名古屋市観光客・宿泊客動向調査より)



レゴランド（金城ふ頭）
(目標値200万人/年) (レゴランドHPより)



出典；「中川運河再生計画」(位置図)



松重閘門 (写真：名古屋市HPより)
(現在は分断・堀川との結節点)



キャナルリゾート
(写真：http://canalresort.jp/より)

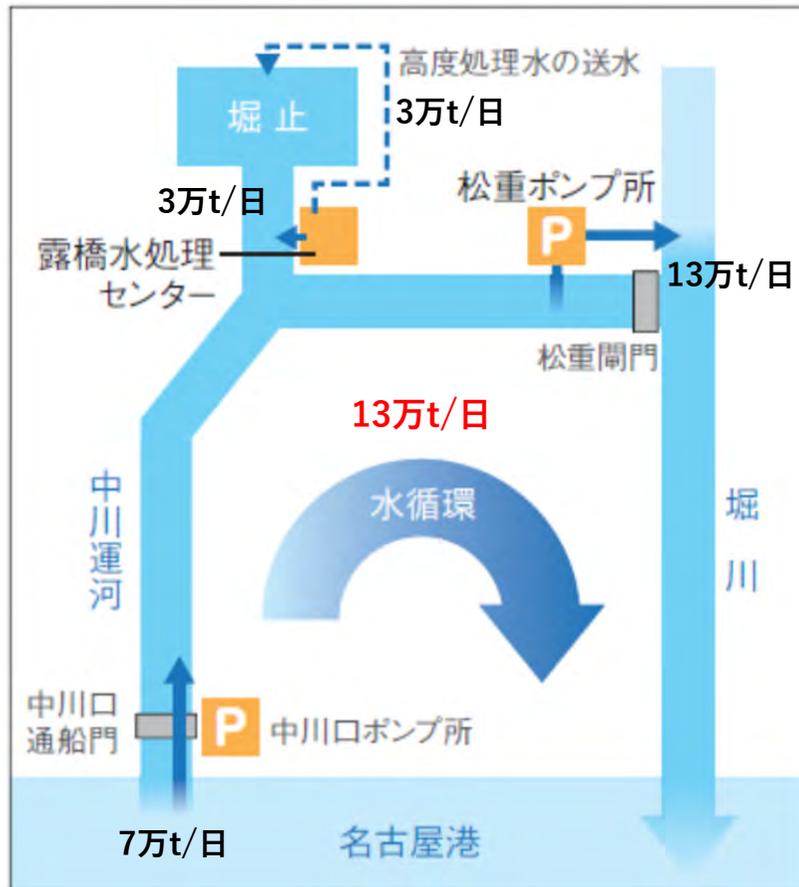


みなとアクルス
(LaLaport 約1000万人/年)
(写真；みなとアクルス施設案内リーフレット(2018.1)より)
(来場者；ららぽーと名古屋みなとアクルスHP掲載値より試算)

2. 運河ならびに周辺利用の課題

【閉鎖水域における水質悪化】

- ・ **閉鎖性水域**のため水循環を図る
中川口→露橋水処理センター→松重ポンプ所→堀川へ放流
- ・ 北支線や東支線； **快適な水環境とは言えない状況**



2. 運河ならびに周辺利用の課題

【高潮等防災対策_名古屋市の高潮計画】

- 過去に甚大な被害が発生した伊勢湾台風規模の高潮被害を防ぐために下図に示すように海岸防護施設（防潮堤等）が整備・計画されている。
- 施設完成後は伊勢湾台風規模の高潮が発生した場合でも、施設より上流の浸水被害発生しないと予測される。



※今後十年以内に着手及び着手検討する箇所

出典：名古屋港管理組合HP



出典：「もっと知りたい中川運河」

2. 運河ならびに周辺利用の課題

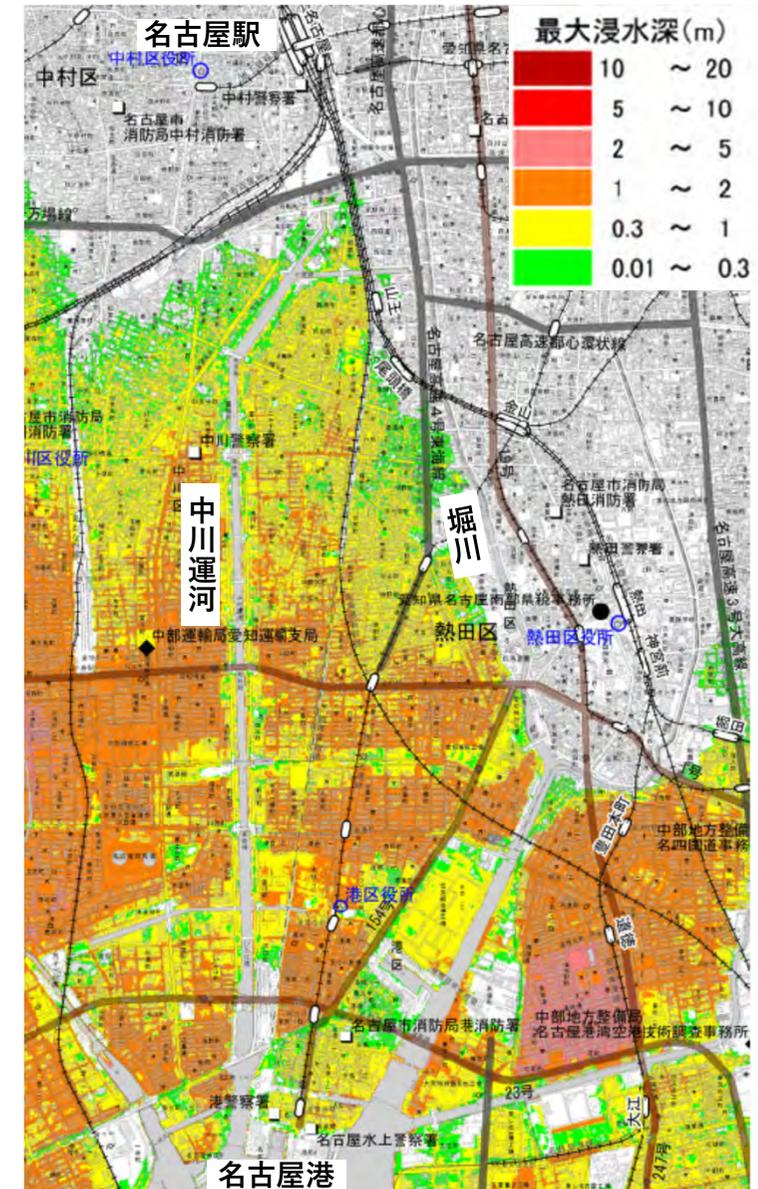
【高潮等防災対策

想定最大クラスの津波（L2津波）による浸水想定】

- 東日本大震災以降、各地の津波想定は見直しが実施された。
- 名古屋においても、東海・東南海・南海トラフ地震（三連動）による最大クラスの津波（L2津波：数百年～千年に一度）が発生した場合、名古屋港周辺に設置または整備中の防潮壁等を越流し、津波は遡上し、中川運河周辺（1～2m）も含め、広範囲に浸水被害が発生すると予想されている。

愛知県津波浸水想定（L2津波）

出典：愛知県HP



3. 国内外の再開発・再生事例

【旧運河地区；ゆとりある居住環境】



マルメ、スウェーデン

3. 国内外の再開発・再生事例

【旧運河地区；集客・憩い】



アムステルダム



シカゴ・リバーウォーク



ベルリン
ホルツマルクト

3. 国内外の再開発・再生事例

【旧運河地区；集客・憩い】

衰退した倉庫街を歴史・文化都市に再生、水辺アクセスの改善



イギリス・リーズ
エアー川

ドイツ・リューベック
トラヴェ川



3. 国内外の再開発・再生事例

【小樽運河_集客・憩い】

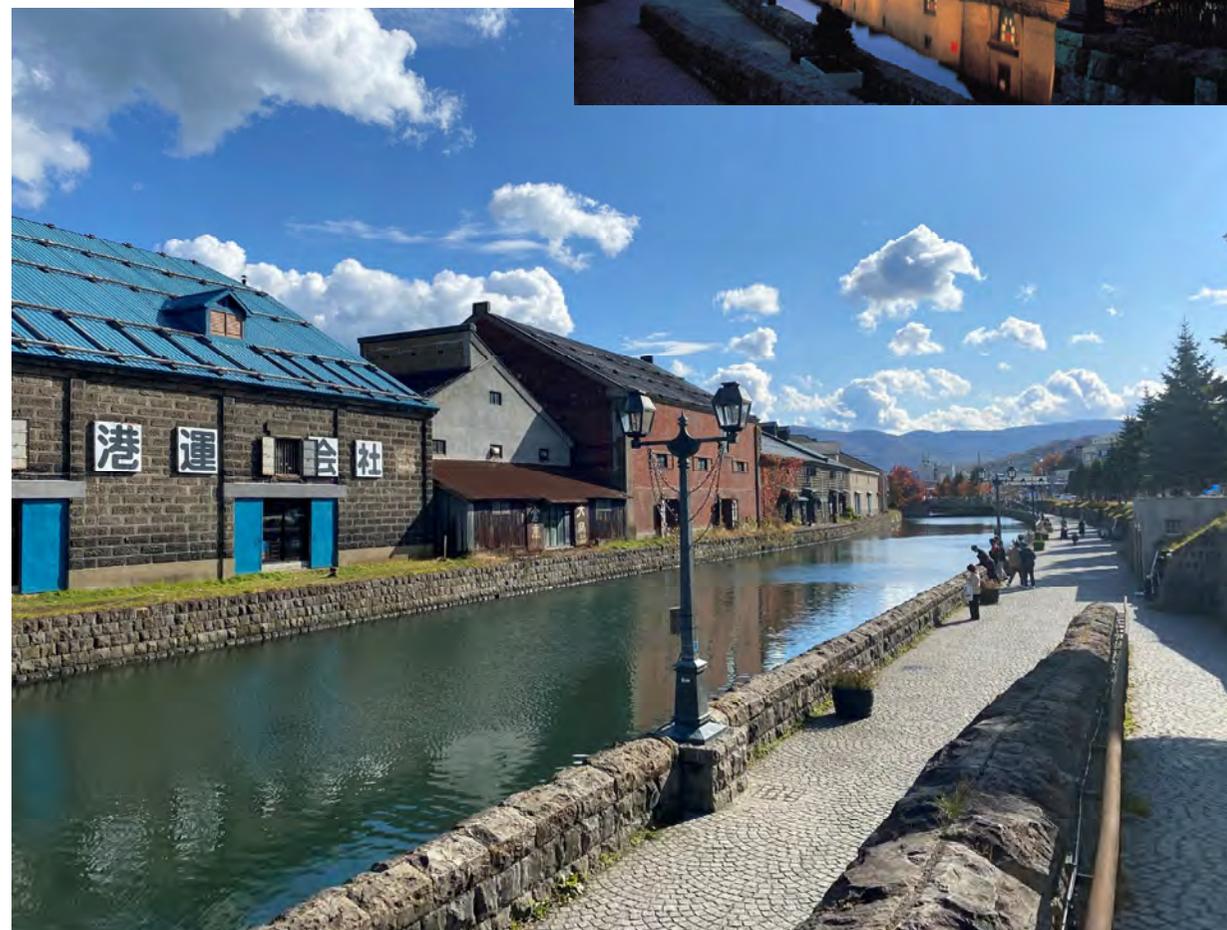


建設当時の運河と
石造倉庫群

ガス灯の
ライトアップ



- 大正12年完成・全長1140m
- 昭和61年、埋立てを巡る論争の末に一部埋立、道路・散策路街園が整備



【環境改善の試行的取組】

- 下水道の整備
- エアレーション等の導入
- クリーンプロジェクト
(清掃活動) 等々

3. 国内外の再開発・再生事例

【富岩運河_集客・憩い】

舟運の役割を終えたどぶ川が
市民の憩いの場に変遷



3. 国内外の再開発・再生事例

【北十間川_集客・憩い】

- 荒川水系江東内部河川で、荒川・隅田川の合流点に水門・樋門が設置されている閉鎖性河川
- 東京スカイツリー完成に伴い、水辺を活かした街づくりと観光を推進



護岸・北十間橋からみた東京スカイツリー（北十間川）



直接ばっ気浄化施設



固定式木炭浄化施設



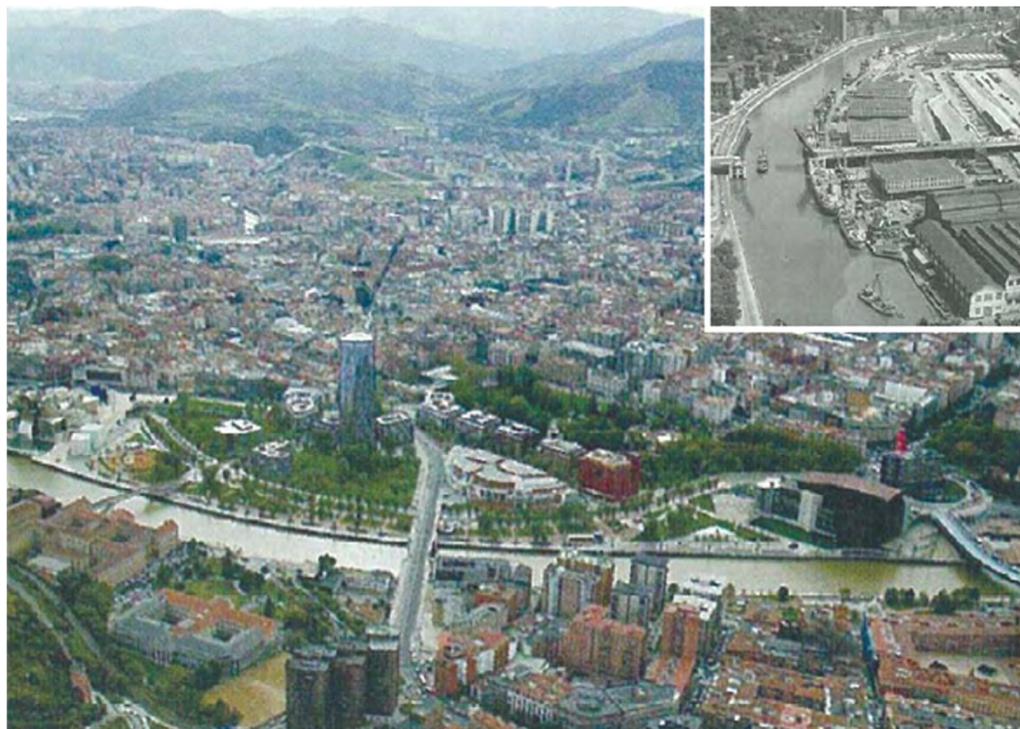
出典；東京都建設局HP「江東内部河川整備計画」（写真左・位置図）
墨田区HP「おしなり公園」（写真：中上下）

3. 国内外の再開発・再生事例

【水域の再生】

文化拠点＋グリーンインフラ整備

⇒ 水辺を生かした未来型の職住環境整備



スペイン・ビルバオ
ネルビオン川

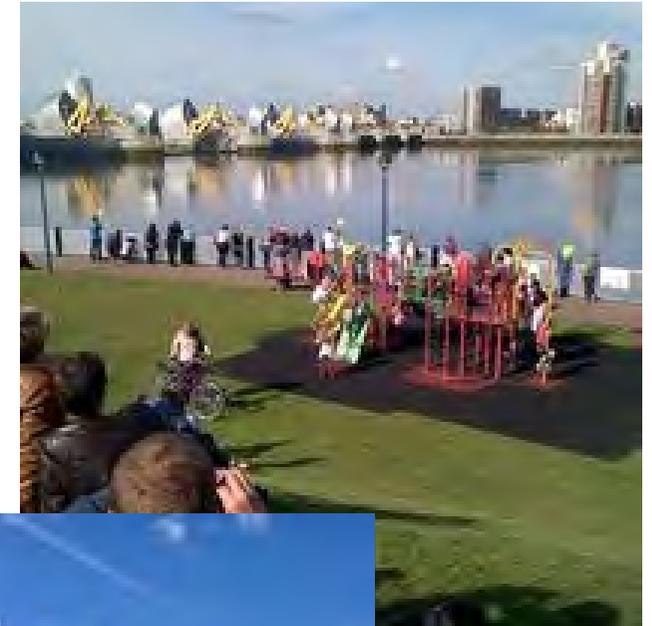
シンガポール・シンガポール
カラン川



3. 国内外の再開発・再生事例

【防災機能による水辺地区の利活用展開】

テムズバリア (高潮対策)



3. 国内外の再開発・再生事例

【防災機能による水辺地区の利活用展開】



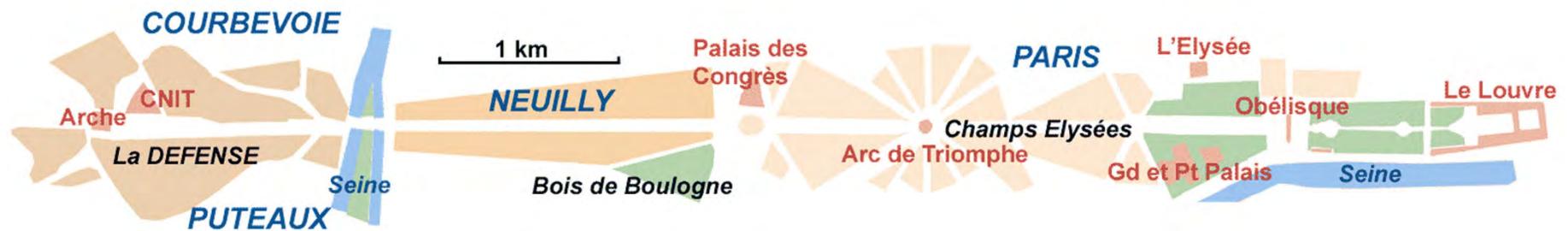
出典； <http://www.elfferding.de/jizoku/hafencity.html>に追記（右）
中部大学 林良嗣卓越教授より提供（左）

3. 国内外の再開発・再生事例

【新基軸の形成】

パリの新歴史軸（8km）

ラ・デファンス新凱旋門～凱旋門～シャンゼリゼ～ルーブル宮（博物館）



出典 <https://ja.wikipedia.org/wiki>

4. 中川運河ならびに周辺地域再生構想

【現再生計画】

中川運河再生計画 H24.10（名古屋市・名古屋港管理組合）

【概ね20年先を見据えた再生方針】

《交流・創造》

人と人、人と運河をつなぎます

《環境》

水・緑・生き物に親しめる
水辺空間を形成します

《産業》

モノづくりの未来を支え続けます

《防災》

まちの安全・安心を支え続けます

【ゾーンごとの再生イメージ】

にぎわいゾーン

港と文化を感じる都心のオアシス

モノづくり産業ゾーン

モノづくりを支えるキャナルストリート

レクリエーションゾーン

水と緑のレクリエーションフィールド



再生計画を踏まえ、名古屋駅～名古屋港を結ぶ
地理的特性を活かした新たな価値創造できる再生構想の提案

4. 中川運河ならびに周辺地域再生構想

日本が抱える 様々な社会課題

人口減少 東京一極集中
高齢社会 過密社会

働き方改革

世界的社会課題

温室効果ガス・気候変動
災害増加

コロナ禍からの 新たな潮流・気づき

適度な分散 三密回避

新たな生活様式・働き方

非接触・オンライン
テレワーク
多様な移動手段



1) 新トレンドを反映した再生構想の提案

新たなトレンド

SDGs

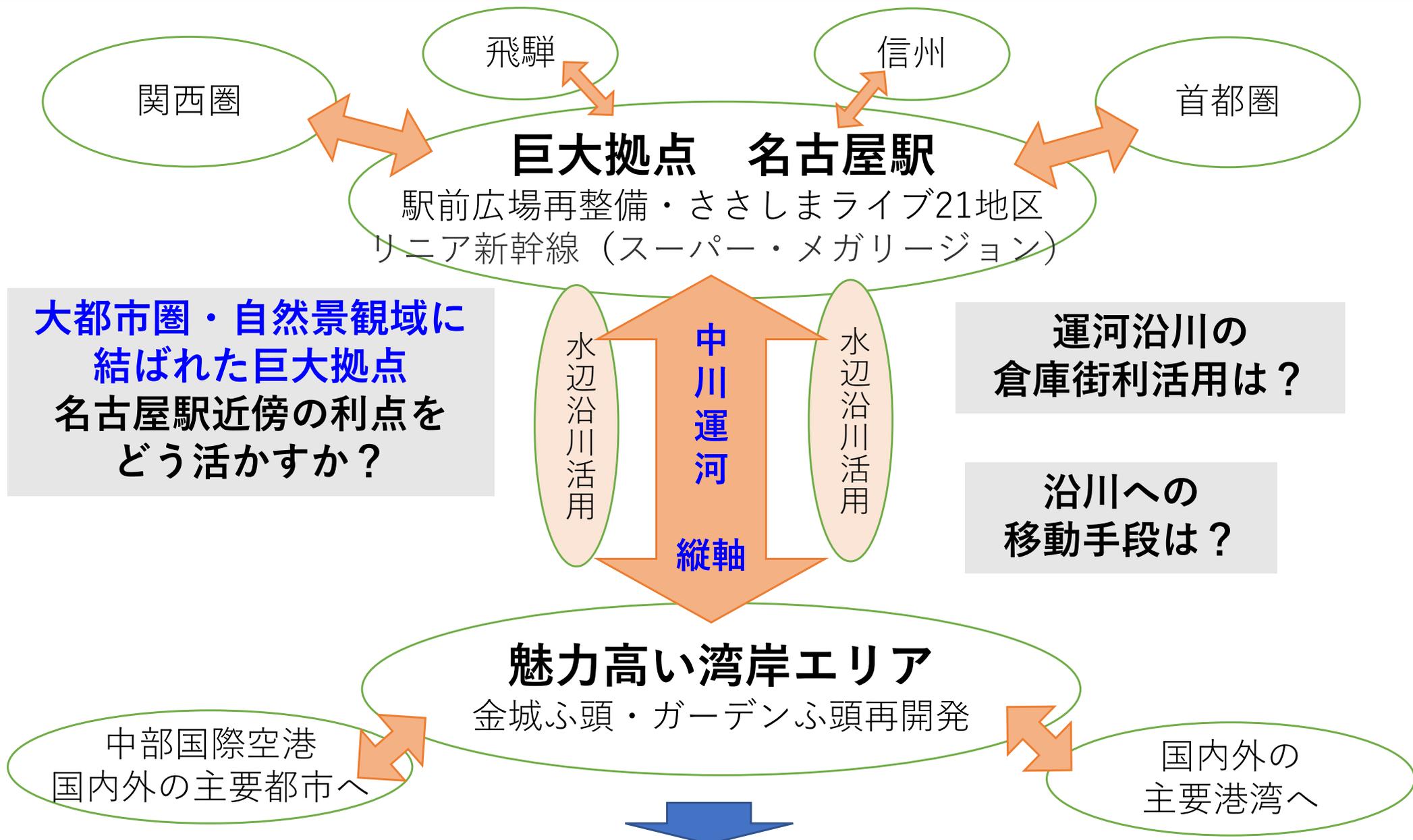
カーボンニュートラル

新たなライフスタイルの提案

住居・職場・余暇

環境負荷削減・スマート交通

4. 中川運河ならびに周辺地域再生構想



2) 名古屋駅～名古屋港の新基軸形成

4. 中川運河ならび周辺地域再生構想

- 1) 新トレンドを反映した再生構想の提案
- 2) 名古屋駅～名古屋港の新基軸形成



《中川運河再生構想の起点となる考え方》

グリーンリカバリー・ポストコロナ時代に
次世代につながる新たな価値創造の発信

■中川運河の広大な水辺を活かしたグリーンインフラ整備

■既存インフラ・施設の再構築・利活用による

多様な価値創造につながるリノベーション

■名古屋駅～名古屋港を新基軸とした

多様なモビリティのネットワークによる賑わいの創出

中川運河の地理的特性を活かしたあるべき将来像を提案

4. 中川運河ならびに周辺地域再生構想

～名古屋都心部に連なる中川運河を
静謐な水辺空間を持つ気品と賑わいのある街に～

水と緑の回廊空間 ～アクアグリーンベルト～

緑豊かな水辺環境を楽しむ質感ある沿岸形成

(市街地の画一的なビジネスビル群から水辺に触れ合う豊かな環境創出)

新旧が融合する職住遊環境 ～ライフスタイルリノベーション～

運河沿川施設のリノベーションから

文化・芸術と新しい生活スタイルが融合した沿岸形成

(産業構造の変容、ウイズコロナ・ポストコロナ、防災を意識したまちづくり)

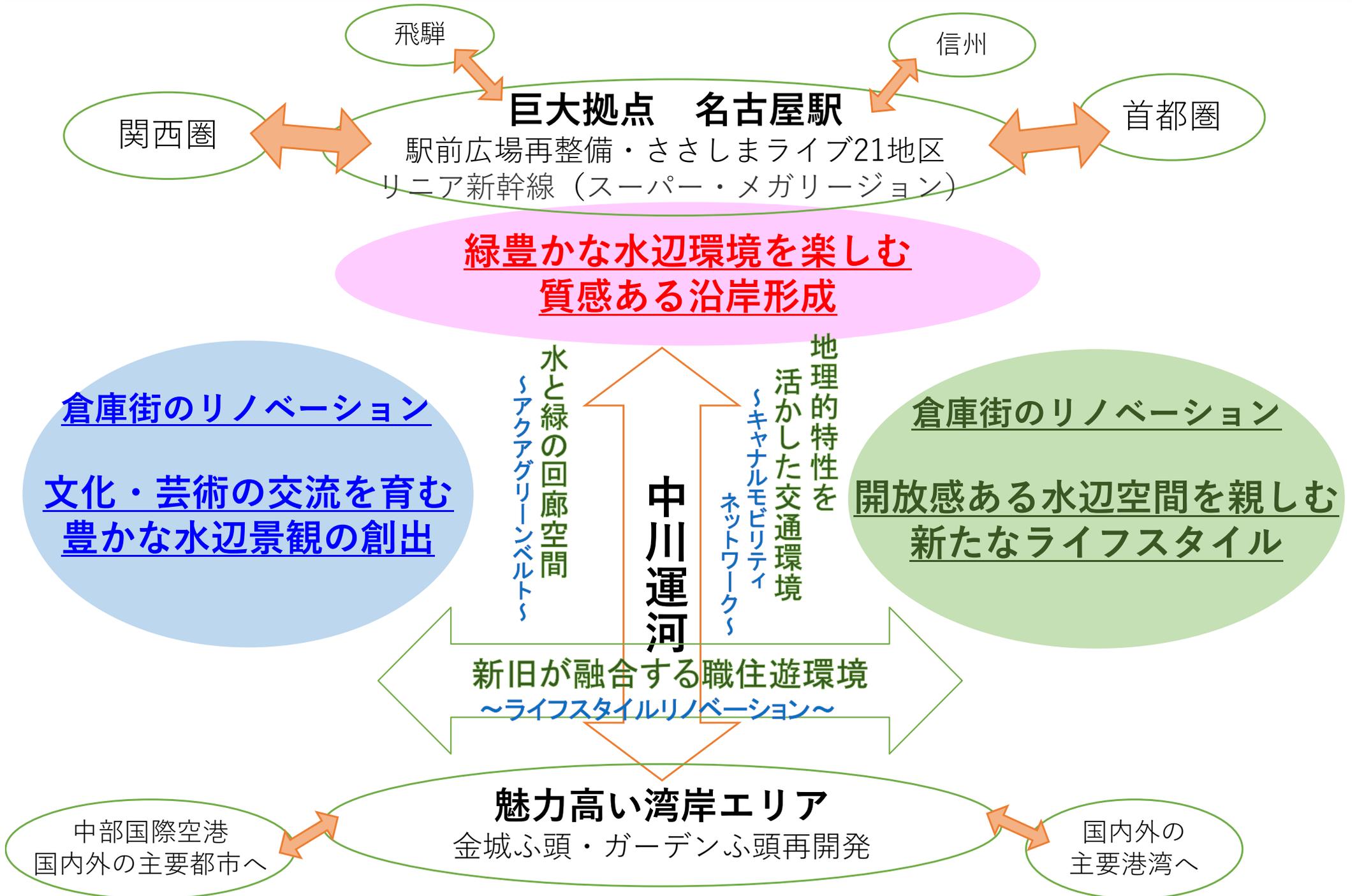
地理的特性を活かした交通環境 ～チャンネルモビリティネットワーク～

水上交通・鉄道を基軸とした環境に優しく利便性に富んだ

拠点を結ぶモビリティネットワークの整備

(名古屋駅～ささしまライブ24～運河周辺の拠点施設計画・整備～名古屋港の連携連担)

4. 中川運河ならびに周辺地域再生構想



水と緑の回廊空間 ~アクアグリーンベルト~

緑豊かな水辺環境を楽しむ質感ある沿岸形成



新旧が融合する職住遊環境 ～ライフスタイルリノベーション～

倉庫街のリノベーションから

文化・芸術の交流を育む豊かな水辺景観の創出



新旧が融合する職住遊環境 ～ライフスタイルリノベーション～

倉庫街のリノベーションから

開放感ある水辺空間を親しむ新たなライフスタイル



4. 中川運河ならびに周辺地域再生提案

地理的特性を活かした交通環境

～キャナルモビリティネットワーク～

中川運河周辺域へのアクセス整備

- **拠点名古屋駅：**
ささしまライブ24地区へ
- **横軸の整備：**あおなみ線、地下鉄
へのアクセス
- **縦軸の充実：**水上交通の多様な利用
通勤・通学、湾内回遊

縦軸と横軸の結節点で
各種モビリティとの連携

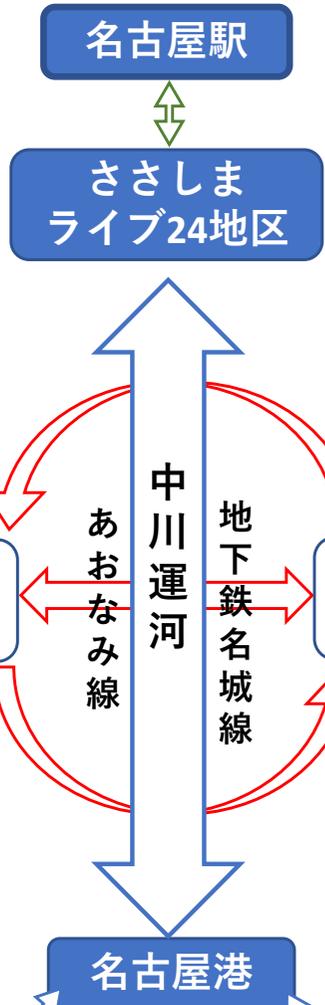
- 超小型モビリティ（移動支援）
- グリーンスローモビリティ
（運河周遊）



名古屋臨海高速鉄道(株)HPより



クルーズ名古屋HPより



日立HPより



南知多町公式
ウェブサイトより



名古屋市交通局HPより



名古屋市HPより



クルーズ名古屋HPより

中部国際空港
国内外の
主要都市へ

国内外の
主要港湾へ

5. 今後の事業展開のために

【中川運河の水辺魅力と事業の周知から参入機運を醸成】

■積極的な広報活動【官公庁主体】

→ 世界運河会議をはじめとする様々な媒体を活用した広報活動

■民間活力の積極的な参入機運の醸成【官民連携】

→ まちづくり協議会・まちづくり会社等の設立支援（官立上げから民間へ）

→ 土地利用におけるPPP・PFIの活用

（官による水辺拠点の整備から周辺地区の土地利用開放によるSPC設立）

■水辺地区開発に合わせたより一層の魅力増大【官民連携】

→ 水質改善・緑地化の早期実現による水辺環境の魅力創出

→ MaaS導入による地域モビリティの機能アップによる地域の魅力向上

→ 既存施設を活かした文化芸術の支援

5. 今後の事業展開のために

【事業推進の加速に向けた誘導・バックアップ】

■中川運河再生の都市計画上の

位置付けと優遇策【官公庁主体】

→ 国家戦略特区の活用など

例) ・ZEH(ゼロ・エネルギー・ハウス)、LCCH(ライフサイクルカーボンハウス) 整備や革新技術導入などによる優遇特区

■臨港地区整備での空間付加価値増大への規制・優遇

(性能規定_環境・脱炭素・景観・防災等) 【官民連携】

→ 3次元空間価値創出型事業の優遇や規制

例) 臨港地区内のグリーンベルトや脱炭素型の整備ケースに規制ある
3次元空間的なボーナス付与(容積率割増し・背後地利用等)

→ グリーンインフラ整備による補助

例) 既存施設の資材利活用や壁面緑化に対する整備域の優遇等

5. 今後の事業展開のために

【事業推進の加速に向けた誘導・バックアップ】

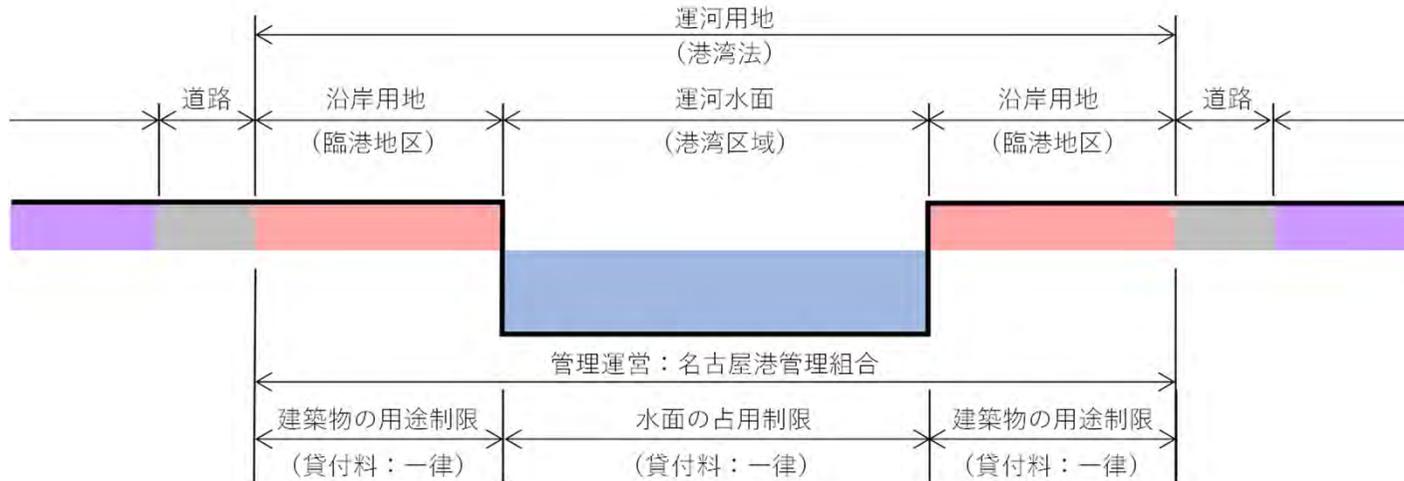
■規制緩和と税制優遇【官公庁主体】

- 次世代へ継承可能な公共的用途に対する固定資産税の減免
(条件を満たす民間施設 (例えば、船着場・1階の防潮扉整備等)
= 公共インフラ投資に値するものとして評価)

■多世代・多価値交流空間形成【官公庁主体】

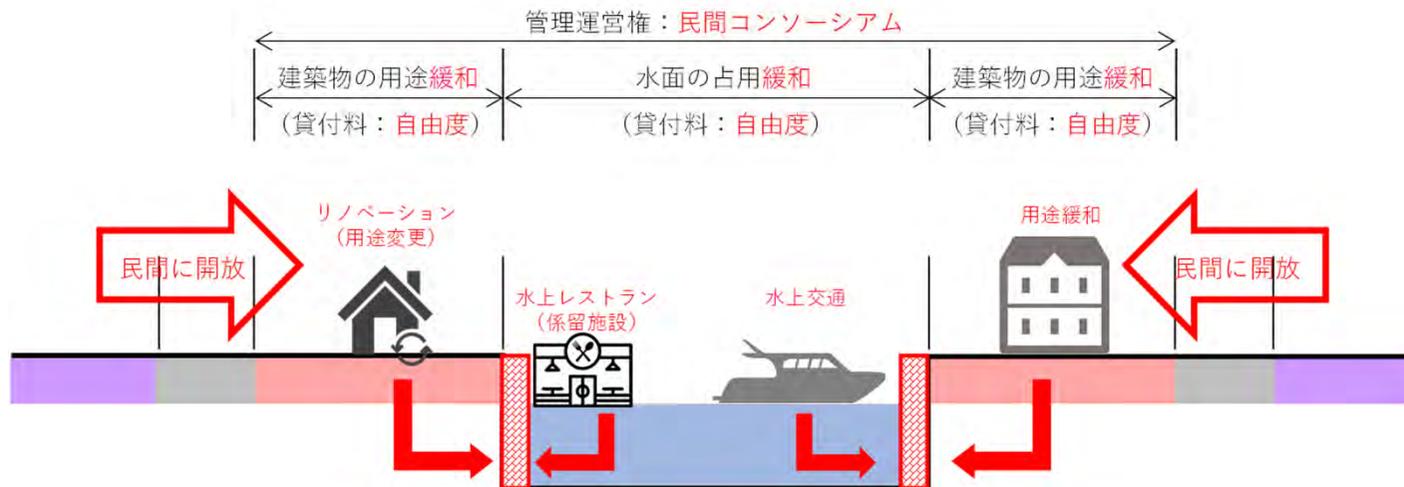
- エイジミックスとしての新婚・子育て世代への家賃・住宅購入補助
- 文化醸成としての若手芸術家へのギャラリー (倉庫活用) 提供支援
- レジリエントで満足感の高いコミュニティ創生

5. 今後の事業展開のために



公民連携による
事業イメージ

規制緩和 (特区等)
PPP/PFI (公民連携事業)



規制緩和による収益 (or貸付料増) の一部を
新護岸整備費に充当

6. 将来構想

中川運河再生構想からスマート・チャンネルタウン形成へ

◆ カーボンニュートラルへの展開

- Z E H、L C C M住宅、水上交通の電気・水素動力化 等

◆ スマートモビリティへの展開

- 自動走行システムも含めた様々なモビリティの連携・連担による中川運河と周辺域への快適な移動システムの整備
- 中川運河の空中域を活用したエアモビリティ
名古屋駅～名古屋港～中部国際空港を結ぶ新システム
(空飛ぶ自動車) 等

◆ 新たな生活スタイルへの展開

シェアオフィス・シェア物流

3D都市モデルによるバリアフリー等の地域・観光情報の見える化 等

実施体制

最高顧問	中村 英夫	<日本プロジェクト産業協議会 国土・未来プロジェクト研究会 最高顧問>
委員長	藤本 貴也	<国土・未来プロジェクト研究会 委員長 パシフィックコンサルタンツ株式会社 特別顧問>
PJリーダー	松田 寛志	<日本工営 常務執行役員>
サブリーダー	今井 稔	<建設コンサルタンツ協会 インフラストラクチャー研究所 研究部長>
建設	小野 哲夫 高橋 健太郎	<熊谷組 執行役員 土木事業本部 副本部長> <熊谷組 土木事業本部 営業部 部長>
開発	藤井 健	<東急総合研究所 顧問>
計画設計	河合 康之	<三菱地所設計 エグゼクティブアドバイザー>
不動産	雨宮 克也	<三井不動産 開発企画部 環境創造グループ グループ長>
港湾行政	丸山 隆英	<前：（一財）みなと総研 専務理事 現：東亜建設工業株式会社 執行役員常務>
オブザーバー	林 良嗣 松尾 直規	<中部大学 卓越教授> <中部大学 名誉教授>